

起業家の集う、 「ワクワク」する町へ

愛荘町ローカルベンチャー(注)プロジェクト!

(注:ローカルベンチャーとは、地域の課題をビジネスを通して持続的に解決する、社会的な起業の事です。)

町では、令和4年度から地域おこし協力隊の制度を活用し、「つながりを生むマーケットを創る」をコンセプトに、「起業家」を誘致しています。町の資源を活かして、魅力的な事業を作ることで、新たなマーケットを創造する。

また、そうした動きから町に住む人の創造性を誘発し、自らやりたいことにチャレンジする人が増えるような好循環を生み出すことを目指しています。

R4年度は、3名のコーディネーターが地域のリサーチを行い、起業家を募集するためのプロジェクトを立ち上げました。募集はSNSを中心とした情報発信をはじめ、オンライン説明会、愛荘町を実際に体感してもらうリアルイベントも開催してきました。熱意のある多数の応募者の中から、愛荘町に興味を持ち、自身の経験を掛け合わせながら、起業意欲を持って町のために前向きに取り組みたいという7名が、愛荘町の地域おこし協力隊員に着任し、4月7日には着任式を行いました!



地域の方々とコミュニケーションを取って、まずは地域に馴染み、それぞれが地域と新たな関係性を築きながら活動を進めていきます!

地域おこし協力隊 新メンバー紹介

地域おこし協力隊とは

都市地域から地方へ住民票を移し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行い、その地域への定住・定着を図る取組です。任期は最大3年間、現在約6,000名の隊員が全国で活動しています。



プロジェクト名:

まちをつくる CAFÉ&BOOKS

地方移住



おおばやし めい
大林 芽生
京都府→愛荘町

もともと海外が好きでしたが、中でも新興国の貧困問題に興味を持ち、初めて訪れたカンボジアで衝撃を受けました。フィールドワークを通して、彼らから幸せはお金じゃない、と人生の醍醐味を教えてもらいました。`幸せは 今ここに在るもの。だと気づき、自分らしくありのままに生きる人たちとともに、まちの拠点を作りたいと自覚。ヒトとモノが集うまちづくりの拠点作りを実践するために愛荘町への移住を決意しました。今興味を持っていることは、まちづくりや援農、発酵文化、日本のまちづくり施設など。年間300冊以上本を読んでいます。

プロジェクト名:

Let's 堆肥!

地方移住



くすのき みよこ
葛谷 美代子
大阪府→愛荘町

大阪市内の企業に勤めた後、30代半ばで渡米。ホームステイ先ワシントン州スポーケン市のコンポスト、生ゴミを燃やさないで堆肥をつくるシステムをみて、「三方(住民、農業者、環境)よしの事業だ!」と感動。その後、州のコンポストレーニングを修了し、2022年に帰国しました。堆肥を軸に愛荘町で三方よしの事業を起こすこと、地域循環のコミュニティをつくっていくことに貢献していきたいです。ゴンザガ大学院コミュニケーション&リーダーシップ学修士

プロジェクト名:

【現代版】諸国産物廻し

Uターン



なかお すずし
中尾 晋
東京都→愛荘町

愛知川小学校、愛知中学校、同志社大学法学部卒業。幼少期より魚掴みに熱中し、将来の夢はずっと「漁師」が「魚屋」でした。大学卒業後は、水産商社に入社し、全国各地でマグロの水揚げや、南極に近いチリ共和国に駐在して、サーモンの養殖や加工指導を経験しました。その後、日本のサーモン業界を盛り上げるために、全日本サーモン協会を設立し現在も代表を務めています。(サーモンの専門家としてTBS「マツコの知らない世界」等に出演したこともあります。) 全国に発信できる愛荘町発のプロダクト開発を目指します。

プロジェクト名:

【現代版】諸国産物廻し

Uターン



むらき あやか
村木 亜弥香
大阪府→愛荘町

3年前から、愛荘町の農作物を主な原料として使用した日本酒(はたしょう)や、酒米を使ったクラフトビールをプロデュースしています。酒米の田植えから醸造までの体験ができるイベントや、地元の食文化を楽しめるイベントを定期的で開催し、この土地を知っていただく活動をしてきました。今後は、より地元の方々と協力しながら、愛荘町の魅力を広めていきたいです。そして、体験を通して農業や文化に興味を持つ方や、日本人としてお米の生産と消費を増やしなが、愛荘町が好きの方を増やしていきたいです!

プロジェクト名:

まちをつくる CAFÉ&BOOKS

地方移住



よこた ゆみ
横田 裕美
茨城県→愛荘町

前職ではオーガニックのお茶メーカーで働きながら、ティーの専門家として、ハーブティーやお茶の講座、ワークショップの講師を行っていました。愛荘町でも、お茶の魅力を多くの方にお伝えできればと思っています。茨城県出身なので、関西に住むことは初めてですが、新しいことにいろいろチャレンジしていきたいです。好きなことは、バックパック1つで世界を旅すること、語学を学んだり食文化に触れること。美術館やカフェ巡りやラグビー観戦、コロナを機にスタートさせたアクセサリー作りとキャンプも日々楽しんでいます。

プロジェクト名:

農業を軸とした体験と宿泊、 持続可能なアグリネットワーク

地方移住



いわなが りく
岩永 大陸
東京都→愛荘町

立命館アジア太平洋大学卒業後、新卒でインドに渡り日系大手人材会社に就職。現地人材を含む人材紹介事業に携わり、コロナを機に転職した後は、リモートワーク勤務も経験。これまでパレスチナ自治区やアフリカ地域を含む世界20カ国以上で生活しました。紛争や戦争を目の当たりにしながら、現地での交流や、異文化に触れた経験を生かして、愛荘町にて多文化共生の実現を目指します。英語はペラペラ、趣味は読書と筋トレと料理。尊敬する人はガンジーです。

プロジェクト名:

生姜の国

地方移住



いそべ みさき
磯部 美季
大阪府→愛荘町

大学では欧米文化を研究、前職は化粧品メーカーのCMO。高校生の息子の学校が滋賀にあり、来るたびに「空が広い! 空気が澄んでいる! 野菜がおいしい!」と感激していました。50歳を過ぎ、次の人生を考えた時に、自分の今までの経験を活かし、誰かのためになる仕事をしたいと強く思い、移住を決めました。町の未来のためにいっしょに働かせてください。愛犬と河川敷をよく散歩していますので、みかけたら声をかけてくださいね。

愛荘町への「思い」や「実現したいこと」をオープンに伝えていく時間、「I Show カイギ」を定期的開催予定です。協力隊の活動を伝えたり、ひたむきな熱意のあるトークゲストを招いたり、この時間を共有した方同士が、お互いにリスペクトできるような場を目指しています。多様な人の生き方や思いに触れて、新しい角度から自らの思いを再発見できるような時間に、ぜひお越しください!



描いている起業アイデアに、これから出会うヒト・コト・モノをミックスしながら、起業の基盤づくりをしていきます! 協力隊メンバーの活動は、SNSで発信中!!

